

浦和大学 九里総合福祉文化研究所主催
2010 第13回 福祉文化フェスティバル

総合テーマ

音・音楽・こども

— 人をつなぐ音楽文化 —

3/8
(火)
13:30~
参加費無料

会場:浦和大学



第1部 辻井いつ子氏 講演会

13:30~14:30
3201教室

「明るく、楽しく、あきらめない生き方」

「明るく、楽しく、あきらめない」をモットーに、生まれつき全盲の伸行氏をプロのピアニストへと育ててこられた辻井いつ子氏をお迎えし、常に子どもの可能性を信じ、よく見て、ほめる子育てについてご講演いただきます。

【講師 辻井いつ子氏プロフィール】

1960年、東京生まれ。東京女学館短大卒業後、フリーのアナウンサーとして活躍。86年、産婦人科医の辻井孝氏と結婚。88年に生まれた長男・伸行氏が生後まもなく全盲とわかり、絶望と不安のなか、育児書や子育てマニュアルが全く役に立たないところから手探りで子育てをスタート。生後8カ月で音楽の才能があることに気づき、持ち前のポジティブさと行動力で、伸行氏との二人三脚を続け、2009年6月、第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで、伸行氏は日本人初の優勝を果たす。子育てに悩む親御さんが集まって、意見交換をするサイト「辻井いつ子の子育て広場」を開設。自分の経験をもとに各地で講演活動も行う。

著書 「今日の風、なに色?」「のぶカンタービレ!」 最新刊「親ばか力~子どもの才能を引き出す10の法則~」(いずれもアスコム刊)
公式サイト 「辻井いつ子の子育て広場」(PC版) <http://kosodate-hiroba.net> (携帯版) <http://kosodate-hiroba.net/m>

第2部 永田砂知子氏による音楽ワークショップ

14:45~15:30
3201教室

「身近なもので音楽を楽しもう」

ピアニスト辻井伸行さんは、身近にあったおもちゃのピアノから音楽の道に入られたそうです。世界に目を向けると、人々は昔から身近なもので音楽を楽しみ、さまざまな楽器を生み出してきました。今回は、パーカッション奏者の永田砂知子氏に、身近なものを使ってどう音楽や音を楽しむか、お話と演奏を交えたワークショップをしていただきます。パーカッション・ユニット、スト・モコスによる演奏とともに楽しみ下さい。

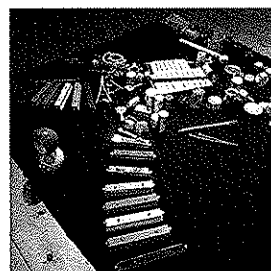
【講師 永田砂知子氏プロフィール】

幼少よりピアノに親しみ、東京芸大打楽器科卒業。パーカッション奏者として、クラシックから即興演奏によるセッションまで幅広く活動。97年に水琴窟からインスピレーションを受けた鉄の創作楽器・波紋音(はもん)に出会い、独自の世界を表現する。現在波紋音の第一人者として、全国各地で演奏。2009年にパリでコンサートを行う。04年音楽療法学会大会・講習会講師として波紋音を演奏したことにより、音楽療法の世界に波紋音が使われ始める。音楽の専門教育を受けていない一般の方や、障がいのある方なども参加可能なワークショップを行っている。2010年に永井朋生とパーカッション・ユニットsto-mocs(スト・モコス)を結成。2008年度より2年間、本学こども学部非常勤講師を務める。浦和大学国際セミナーでの演奏、親子のひろば「ぼっけ」でのミニワークショップ開催にも協力。

公式サイト <http://www.nagatasachiko.com/>



スト・モコス(永田砂知子氏・永井朋生氏)



緑豊かな浦和大学キャンパスが皆様をお迎えします。

●アクセス JR武蔵野線「東川口駅」、埼玉高速鉄道「東川口駅」「浦和美園駅」よりスクールバス(無料)がでています。またJR浦和駅西口からは国際興業バス(有料)が本学まで運行しています。(バスの時刻表については本学ホームページでも確認できます)

主催:浦和大学 九里総合福祉文化研究所
〒336-0974 さいたま市緑区大崎3551
TEL 048-878-6000(代表)
FAX 048-878-3793
<http://www.urawa.ac.jp>